

広報

# まつざき

2025

# 12

No.739



松崎地区秋祭り（伊那下神社）

11月2日、3日、町内で秋祭りが行われ、  
三番叟の奉納や太鼓台の巡回などでにぎわいました。

# 松

# 崎

# 町

# 功

# 労

# 有

# 功

# 彰

11月21日、環境改善センター文化ホールで、松崎町功労者表彰式を行いました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の政治や福祉など、各分野において、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。



▲松崎町功労者表彰式にて



▲表彰状の授与

## 功労表彰

**渡邊  
昌平**

(元保護司)

多年にわたり、保護司として、犯罪の予防、犯罪や非行をした者の自立更生などに尽力し、社会福祉の増進に貢献。

○在職年数 20年

**鈴木  
公康**

(元農業委員)

多年にわたり、農業委員として、農業振興、町の産業活性化に貢献。

○在職年数 19年

## 有功表彰

**関  
博文**

(元公務連絡員)

多年にわたり、町内自治会の振興に貢献。員として、町政の推進に協力し、町内自治会の振興に貢献。

○在職年数 6年

## 問合せ

ひろふみ  
さん

せき  
さん

**松本  
一男**

(元教育委員)

多年にわたり、教育委員として、教育行政の推進と発展に尽力し、町の教育環境の向上に貢献。

○在職年数 12年

**平野  
明彦**

(元体育指導員)

多年にわたり、体育指導員として、町のスポーツ振興と住民の健康づくりに貢献。

○在職年数 23年



▲表彰状の授与

## 問合せ

企画観光課 (42) 3964

## 『税を考える週間』

### 税に関する作品

#### 審査結果

## 入賞作品

伊豆下田税務協議会会長賞  
佐藤 翠さん（松小6年）

松崎町長賞

### 習字

寺田 陽鞠さん（松小6年）

未税と

松崎町教育長賞

未税と

松崎小六年 北館史真

北館 史真さん（松小6年）

未税と

松崎小六年 佐藤翠

下田市・賀茂郡租税教育  
推進協議会会長賞

篠原 那津美さん（松小6年）

未税と

松崎小六年 篠原那津美

題名

### 作文

静岡県下田財務事務所長賞  
斎藤 日向さん（松中3年）

松崎町では、松崎小学校から習字の部に26点、松崎中学校から作文の部に29点の応募があり、審査の結果、習字の部、作文の部において以下のとおり入賞者が決定しました。

#### 【問合せ】

窓口税務課（42）3968



静岡県警では、12月15日

このような電話は詐欺です！

から31日までの間、年末特別警戒を実施します。

この電話はあと2時間で使えなくなります（自動音声）。

下田警察署管内で空き巣の被害が増加しています。

〇〇県警です。あなたが年末年始は外出する機会も多いなるので、玄関や窓の鍵掛けを徹底し、防犯カメラや防犯フィルム、センサーライトなどを活用しましょう。

また、下田警察署管内で、令和7年10月末までに特殊詐欺が3件、約3,880万円の被害、SNS型投資・ロマンス詐欺は合わせて6件、約1億4,200万円の被害があり、急増しています（速報値）。

警察官がSNSで連絡をしたり、警察手帳や逮捕状などの画像を送ることはできません！ 警察官がお金を振り込むよう指示することはあります！

## 年末特別警戒実施！！

#### 【問合せ】

下田署管内防犯協会（27）2766

防犯協会では、自治会の高齢者に対する詐欺被害防止講話を無料で実施しています。お気軽にお問い合わせください。

「教育に使われている税について」

## 町の財政状況

# 令和7年度 一般会計 上期執行状況

歳入

令和7年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳出

47億521万3千円 上段：予算額

22億3,817万円 下段：収入済額 ( )：収入率 (47.6%)

地方交付税	19億846万円 13億5,583万1千円 (71.0%)
町 税	5億7,153万1千円 3億3,463万8千円 (58.6%)
国庫支出金	4億997万8千円 1億2,938万6千円 (31.6%)
県 支 出 金	2億2,553万7千円 1,345万6千円 (6.0%)
町 債	2億1,950万円 0円 (0.0%)
諸 収 入	1億5,062万8千円 4,333万5千円 (28.8%)
地方消費税 交 付 金	1億3,500万円 9,510万6千円 (70.4%)
繰 越 金	1億円 1億4,401万5千円 (144.0%)
寄 附 金	7,650万3千円 2,452万7千円 (32.1%)
繰越明許費	1億6,253万5千円 6,001万5千円 (36.9%)
そ の 他	7億4,554万1千円 3,786万1千円 (5.1%)

47億521万3千円 上段：予算額

17億3,059万8千円 下段：支出済額 ( )：執行率 (36.8%)

総務費	10億8,211万9千円 3億4,829万4千円 (32.2%)
民生費	9億2,185万9千円 4億2,308万6千円 (45.9%)
衛生費	5億9,608万8千円 1億5,580万8千円 (26.1%)
教育費	4億2,843万9千円 1億9,689万6千円 (46.0%)
農林水産業費	3億2,446万7千円 5,831万8千円 (18.0%)
公債費	3億993万9千円 1億5,437万7千円 (49.8%)
消防費	3億783万3千円 1億2,749万円 (41.4%)
商工費	2億6,742万6千円 1億4,719万2千円 (55.0%)
土木費	2億4,169万7千円 4,108万9千円 (17.0%)
繰越明許費	1億6,253万5千円 5,473万3千円 (33.7%)
その他	6,281万1千円 2,331万5千円 (37.1%)

町民1人当たりでは

令和7年9月30日までに  
納めていただいた税金（町税） 約6万円

令和7年9月30日までに  
使ったお金 約31万3千円

## 9月30日現在の基金（町の貯金）と町債（町の借金）の状況

●町の貯金（財政調整基金など15基金）  
19億3,233万8千円  
町民1人当たり約35万円



●町の借金  
23億6,463万円  
町民1人当たり約42万8千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口 5,518人で計算しています。

【問合せ】総務課（42）3963

# 振興公社 管理施設上半期実績

令和7年度上半期振興公社管理施設の実績について、前年度より利用者が減少した施設もありましたが、全体では昨年より利用者が増加しました。

伊豆まつざき荘については、宿泊利用者は前年度に比べ2,326人増、日帰り入浴や会食などの休憩利用は前年に比べ369人減となりました。OTA（オンライントラベルエージェント）施策に注力したことで、宿泊利用者は大きく増加しました。

4月には、新たに民間から総支配人は、指定管理施設の支配人経験も豊富で、さまざまなノウハウを活かして業務改革を進めています。上半期は、職員からヒアリングを行って課題を抽出し、改善に向けての指導や販売促進の指導を行い、

売上向上に向けて取り組んでいます。

施設については、建設から約20年が経過し、老朽化により施設の修繕が必要と

**【問合せ】**  
企画観光課（42）3964

なっていますが、資金難から思うように修繕が進んでいません。

## 令和7年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)
伊豆まつざき荘	宿泊	11,610	9,284	2,326 125.1%
	入浴	3,120	2,881	239 108.3%
	休憩	443	1,051	△ 608 42.2%
	小計	15,173	13,216	1,957 114.8%
伊豆の長八美術館	入館	5,611	5,849	△ 238 95.9%
重文岩科学校	入館	3,661	3,938	△ 277 93.0%
道の駅花の三聖苑	利用	8,831	9,038	△ 207 97.7%
旧依田邸	入館	2,280	2,220	60 102.7%
大沢温泉依田之庄	入館	13,126	11,217	1,909 117.0%

# 姉妹都市通信

## 富士宮市から 「白糸の里」



▲富士山白糸平成棚田祭りの様子

静岡県では、持続可能な地域づくりを通じて、農山村の持つ地域の宝を大切にし、次世代に継承する活動を行っている理想の農山漁村を「ふじのくに美しく品格のある邑」と位置付けています。皆さんもご存じのとおり、松崎町の那賀地区や石部の棚田も品格のある邑として登録されています。富士宮市では、7つの地域が品格のある邑に登録されていて、そのうち

白糸の里です。  
白糸の里は、世界遺産富士山の構成資産である白糸ノ滝を有し、稲作が盛んな地域です。当地区に所在する平成棚田では、日々の営農や地域内外の人々の協働活動により管理され、富士山の四季の変化に彩りを添えています。

平成棚田では、春の訪れとともに、3,776本の竹灯籠が田園に幻想的な空間を演出する「富士山白糸平成棚田祭り」が開催されています。今年度は、令和8年3月8日（日）午後5時30分から、会場は平成棚田「本源寺（富士宮市原873）南」で開催されます。品格のある邑白糸の里に、ぜひお越しください。

## 地域防災訓練

静岡県では、1983年（昭和58年）から地域防災訓練が始まり、1986年（昭和61年）からは、12月の第一日曜日を「地域防災の日」と定め、各地域の自主防災組織が中心となり、訓練が実施されています。

松崎町では、12月7日

（日）に、大地震を想定し、各地区の計画に基づいて訓練が実施されますので、各地区的訓練に積極的にご参加ください。

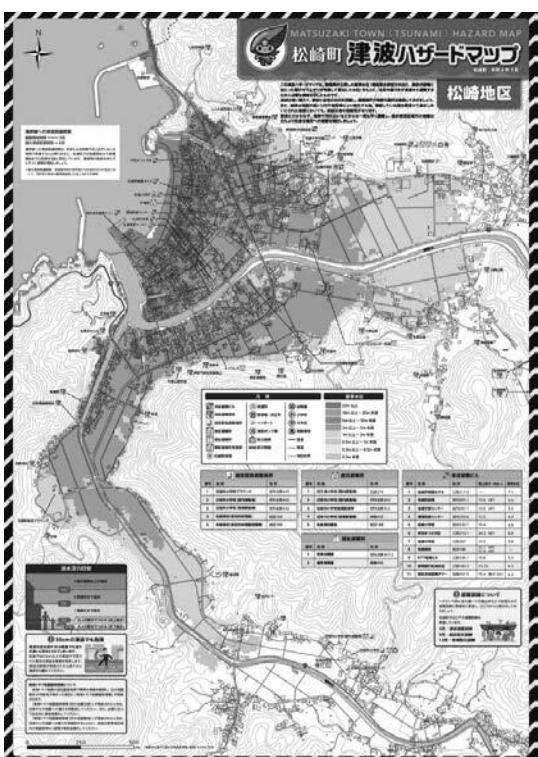
また、訓練放送に併せて、携帯電話へのエリアメール試験配信も行いますので、メールの受信確認もお願いします。

## 津波警報・注意報の種類

津波による災害の発生が予想される場合、気象庁は、以下の予想区分に応じて警報・注意報を発表します。

種類	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	予想区分	数値での発表	
大津波警報	10m < 予想高さ	10m超	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	5m < 予想高さ ≤ 10m	10m	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなどの安全な場所に避難する。
	3m < 予想高さ ≤ 5m	5m	
津波警報	1m < 予想高さ ≤ 3m	3m	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなどの安全な場所に避難する。
津波注意報	0.2m < 予想高さ ≤ 1m	1m	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、小型の船が転覆する。 海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れる。

※予想を超える場合もあるので、危険を感じたら避難しましょう。



松崎町の「津波ハザードマップ」は、「松崎地区」と「岩地・石部・雲見地区」の2種類あります。マップ上に津波避難場所や津波避難ビルなどの避難場所がどこにあるか示しています。

また、ハザードマップは、静岡県が実施した「静岡県第4次被害想定」における、最大クラスの津波の浸水想定エリアに色付けがされ、想定される「最大浸水深」

に、建物が建築物などに衝突したときに生じるせり上がりの高さを加えた水位でありますので、町内の避難場所を日頃から確認し、いざ

## ハザードマップで避難場所を確認しましょう！

【問合せ】 総務課（42）3963

というとき、どこに避難できるか確認をお願いします。

# 松崎高校広報～西豆と共に～

## 体育祭



10月3日、松崎高校と伊豆松崎分校が合同で体育祭を行いました。今年で4回目となるこの行事は、生徒会と各専門委員会を中心に行なって、生徒主体で企画・運営されました。生徒たちは、競技を通して状況判断力や責任感を養い、全力で取り組む中で仲間との絆を深めました。赤・青の2軍に分かれ、応援合戦やリレーなどで熱戦を繰り広げ、会場には笑顔と歓声があふれました。両校の理解と親交をより一層深める、充実した1日となりました。

## 林業体験（1年生）



10月17日、西豆学において、地域産業と身近な生活への関連を考えるとともに、就業感を養うことを目的に林業体験を行いました。参加した生徒からは「森林が放置されることで動物が町へ降りてきてしまったり、土砂崩れや海の豊かさに影響が出てしまったりする」「林業は身近に存在し、私たちはその恩恵に頼って生きているんだと感じた」「実際に体験したことで、林業の危険さとか、それにも勝る楽しさとかを知ることができた」といった感想が聞かれました。

## オンライン合同探究授業（2年生）



10月17日、西豆学において、京都府・新潟県の高校とオンラインでつながる合同探究授業を実施しました。各校の生徒が自分の探究テーマを紹介し合い、互いに質問や助言を交わしました。生徒からは「他校の生徒の考えに刺激を受けた」「自分の探究の方向性がはっきりした」「テーマに自信が持てるように行動していきたい」といった感想が聞かれました。学校や地域を越えた交流を通じて、学びを広げる貴重な機会となりました。

## 生徒総会



10月24日、後期生徒総会が行われました。9月の生徒会長選挙で信任された2年生の山田船成さんが、「『百花繚乱』のように、生徒一人一人が主役となり、自分らしく活躍し、光り輝くような活気ある学校をつくりていきたい」と所信を表明しました。続いて、前期の行事の振り返りと後期専門委員会の活動方針が報告されました。これから1年間、生徒会執行部を中心に、「生徒一人一人が主役となれる学校」づくりに向けた取り組みが期待されます。

【問合せ】 松崎高校 (42) 0131

# けんこう まつざき健幸レシピ No.64

## キノコたっぷりけんちん汁

### —ここがポイント—

★だしをとることはもちろん、具だくさんにして、野菜やキノコのうま味が出るため、減塩できます。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
55kcal	3.0g	2.9g	4.3g	0.3g



(1食当たり)

### — 材料 (4人分) —

シメジ	50 g (1/2株)
マイタケ	50 g (1/2株)
シイタケ	40 g (4枚)
大根	50 g (2cm)
ニンジン	30 g (1/5本)
こんにゃく (あく抜き不要のもの)	
・	60 g (1/5枚)
油揚げ	30 g (1枚)
ごま油	4 g (小さじ1)
酒	30 g (大さじ2)
しょうゆ	4 g (小さじ1弱)
だし汁	600ml
小ネギ	少々

### — 作り方 —

- ①シメジとマイタケは石突をとり、ほぐす。  
シイタケは石突をとり、薄切りにする。
- ②大根とニンジンは3~4ミリ幅のいちょう切り、こんにゃくはスプーンでちぎる。油揚げはキッチンペーパーで余分な油を拭き取り、短冊切りにする。
- ③鍋にごま油を熱し、シメジ、マイタケ、シイタケ、大根、ニンジンをさっと炒め、だし汁を加える。
- ④蓋をして、大根とニンジンが柔らかくなるまで煮たら、こんにゃくと油揚げを加え、一煮立ちする。
- ⑤酒、しょうゆで味を調える。
- ⑥椀に盛り、小ネギを散らす。

【問合せ】 健康福祉課 (42) 3966

地方創生や地域活性化とは？ 2014年5月に増田リポートにより、「全国896の自治体が消滅する可能性がある」と公表されました。2024年に公表された第2弾でも、744の地方都市が消滅するとされています。当町もその中に含まれています。

そこで、ふるさとを持つ続可能な地域にするためには何が必要か？ 本当に地域が消滅してしまうのか？ 消滅するといふことはどういうことなのか？ 自分なりに考えてみました。愛するふる里「松崎町」を未来へ、次世代へつなぐために何が必要か？ 答えは、その地域に人が住み、なりわいを続け、外から人が訪

れていました。地域活性化のためには、地域の魅力を再発見し、誇りとするこ

とがまちづくりの一丁目

### まちづくり

松崎町長 深澤 準弥

## 町長コラム 第48回

# My Town Topics ~まちのできごと~

## フェスタ長八2025



10月19日、町内で、左官の神様といわれる松崎町出身の名工「伊豆の長八」の顕彰イベントとして、「フェスタ長八2025」が開催されました。

イベントでは、伊豆松崎牛原太鼓などのパフォーマンスが行われたほか、長八追悼法要や長八スタンプラリー、光る泥団子制作体験、漆喰壁・なまこ壁塗り体験などが実施され、たくさんの人でにぎわいました。

## 安曇地区親善訪問

10月25日から26日までの2日間、松崎町から総勢27人が安曇地区を訪問しました。

初日は上高地ハイキングの後、宿泊先の上高地アルペンホテルにて、安曇地区の皆さんに歓迎会を開いていただきました。2日目には乗鞍自然保護センターの見学を行いました。

見頃の紅葉など美しい自然を堪能し、安曇地区との交流を深めることができました。



## 道の駅花の三聖苑伊豆松崎 授乳室贈呈式



10月29日、花の三聖苑に簡易設置型授乳室と授乳チェアのセットが寄贈され、その贈呈式が開催されました。

(一社)日本道路建設業協会は、(一社)全国道の駅連絡会と連携し、国土交通省が推奨する道の駅の「子育て応援」施設の整備支援として、今年度、全国44の道の駅、中部地方では3駅へ寄贈します。

授乳室は段ボール製で、設置後も移動、移設が楽にできるため、災害時にも活用できます。

## 第45回松崎町文化協会芸術祭

11月7日から10日まで、環境改善センター文化ホールで、第45回松崎町文化協会芸術祭が開催されました。

会場には、絵画・彫刻のほか、町内4カ所の介護施設利用者や伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校の生徒の作品など計327点が展示され、多くの方が訪れていました。



